

2023年1月20日

関係者各位

独立行政法人国立科学博物館
標本資料センター 神保 宇嗣

第40回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会の開催について（案内）

平素より自然史標本データ整備事業にご協力下さり、ありがとうございます。

第40回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会を下記のとおり Zoom を利用して開催します。昨年に引き続き、本年も新型コロナウイルス対策のため、対面集会ではなくオンライン形式での開催にさせていただきます。

多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。ご参加いただける場合には、2月12日（日）までに下記の事前申し込みフォームよりお名前、ご所属をご連絡ください。

記

日時：2023年2月18日（土） 13時30分～16時30分

場所：Zoom を利用したインターネット会合

事前申し込み：<https://forms.gle/9HAQv5Hov6TD6Ai69>

※受付後、改めて Zoom の URL をお知らせいたします。

申込締め切り：2023年2月12日（日）24時

主催：国立科学博物館

協力：NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク

プログラムは別紙をご覧ください。

本件に関する連絡先

国立科学博物館

神保 宇嗣・水沼登志恵・柿添翔太郎・江守 知保

電話：029-853-8277 E-mail：s-net_info@kahaku.go.jp

第 40 回 自然史標本情報発信に関する研究会
ー標本データ準備と公開のためのノウハウ集ー

サイエンスミュージアムネット (S-Net) では、参加機関の皆様から提供していただいたデータを、S-Net システム等を通じて公開しています。データの準備にあたっては、それぞれの博物館でさまざまな工夫をされていると思います。最近では、オンラインシステムを活用して、多くの方にボランティア等の形で標本データの入力を実施していただくクラウドソーシングと呼ばれる手法も利用できるようになりました。また、S-Net や GBIF のシステムには、データのチェックや公開に有用な機能がいろいろあります。

そこで、今回の研究会では、クラウドソーシング手法の体験、GBIF ポータルを利用したデータチェック、S-Net を各館のポータルとして利用する方法など、参加館のデータの準備や利用に有用と思われる機能の活用にスポットをあてて紹介します。また、新型コロナウイルス感染症の状況によってオンライン開催になったこともあり、研究会における参加者との間のコミュニケーションがなかなか取りづらくなっておりました。そのため、今回の研究会では、最後に S-Net の活用に関する討論および意見交換を実施し、ノウハウの共有や参加者間の交流を図りたいと思います。

講師：

神保宇嗣 (国立科学博物館 標本資料センター)

海老原淳 (国立科学博物館 植物研究部)

内容 (プログラム)：

- 1) 諸注意・趣旨説明 【神保】
- 2) Zooniverse を用いたクラウドソーシングによる標本データ入力の紹介とデモ 【海老原】
- 3) データ準備・発信における S-Net や GBIF のシステムの活用 【神保】
- 4) 討論・意見交換

ご参加いただくには、事前のお申し込みが必要です。

下記のサイトより、お申し込みいただければ幸いです。

事前申し込み：<https://forms.gle/9HAQv5Hov6TD6Ai69>

※受付後、改めて Zoom の URL をお知らせいたします。